



繊維・ファッション業界の指針となる SDGs

SDGs と国際ルール

株式会社オウルズコンサルティンググループ 代表取締役 CEO
羽生田 慶介

※2020年2月17日付の織研新聞の記事を一部変更して掲載しています

近年世界的に認識が高まり、日本でも取り組む企業が増えている「SDGs(持続可能な開発目標)」。国際的な目標は、日本企業に課せられた「責任」であると同時に新たな「機会」と捉えることもできます。SDGs が繊維・ファッション業界にもたらす影響やビジネスチャンスについて解説します。

SDGs(持続可能な開発目標)は法律や条約ではありません。国連が定めた「目標」です。法的拘束力がないSDGsには、その実現のための方策に解釈の余地が大きく与えられてきました。

しかし、2030年まで残り10年となり、変化が生まれてきています。SDGs 関連のルール形成が加速していることに注目してください。企業が独自の判断でウェブサイトにSDGs ロゴを貼ってアピールするだけの時期は過ぎました。これからはルールを熟知しなければなりません。

SDGs の策定より前にも、社会課題対応や企業の責任を問うルールは存在しました。廃棄物や悪燃費を取り締まる各国「規制」や気候変動対策の多国間「協定」だけでなく、企業や社会のあるべき姿を示した「規格」も作られてきました。最も有名なのは、ISO(国際標準化機構)が発行した ISO26000 という企業や組織の社会的責任を規定した国際ガイダンスでしょう。

2015年に策定されたSDGsは、これらに関連するルール形成を更に加速させました。2017年には持続可能な調達のガイダンスである ISO20400 が発行され、ISO26000 とともに経団連の「企業行動憲章」とその手引きにも反映されています。同年に採択された 2020 年東京オリンピック・パラリンピックでの「持続可能性」に配慮した調達ガイドラインでは、フェアトレード・ラベルなどの国際認証スキームの活用も明示されました。

そして今年からいよいよ、ルールによってSDGs 貢献の巧拙が「見える化」されると見られています。国連開発計画(UNDP)はSDGs に貢献するファンドや事業を認証するための「SDG インパクト」という基準を策定し、2020 年に正式発表する予定です。SDGs に貢献する投資機会がどこの国にあるかを把握できるマップづくりもこれに関連し進められています。ほかにも ISO での「サーキュラーエコノミー」や「シェアリングエコノミー」「サステナブルファイナンス」などの国際規格化に注目が集まります。

また、日本国内では今年、「人権」の分野でルールの変化が始まるでしょう。国連の原則に沿って、日本でも官民が 2016 年から「ビジネスと人権に関する国別行動計画」(NAP)の検討を進めてきました。ついに 2020 年半ばにこれが完成し、公表される予定です。NAP を策定した海外諸国では企業に人権デューデリジェンス等の実施を求める法令が多く作られており、日本でも経団連や各業界団体から人権に関する具体的なルールが発信される可能性があります。ファッション業界のように発展途上国の生産拠点を活用しながら多くの店舗人材が忙しく働くビジネスでは、特にルール形成の影響は大きなものになるでしょう。

SDGs に関するルールの多くは、何かを「取り締まる」のではなく、取り組みを「加速させる」ことに狙いがあります。ゆえに、ビジネスチャンスも見つかるでしょう。

国連開発計画(UNDP)「SDGインパクト」



SDGsに貢献するファンドや事業を認証する基準

【対象】

- プライベートエクイティファンド
- 債権
- 企業の事業

著者



株式会社オウルズコンサルティンググループ
代表取締役 CEO
羽生田 慶介 / Hanyuda, Keisuke

経済産業省、キヤノン、A.T.カーニー、デロイトトーマツコンサルティングを経て現職。経営戦略・事業戦略の豊富なコンサルティング経験と規制制度に関する深い理解を背景に官民のルール形成やロビイング支援に注力している。

著書に『稼げる FTA 大全』(日経 BP 社)、『世界市場で勝つルールメイキング戦略』(共著:朝日新聞出版)がある。多摩大学大学院 ルール形成戦略研究所 副所長/客員教授。

経済産業省「Society 5.0 国際標準化国内検討委員会」他、政策検討委員を多く務める。

本資料は一般的な情報提供を目的とするものであり、その性質上、特定の個人や事業体に具体的に適用される個別の事情に対応するものではありません。関連する法令等の解釈を行ったものではなく、利用者が本資料を利用したことによる結果について、株式会社オウルズコンサルティンググループは一切の責任を負うものではありません。

また、書面による株式会社オウルズコンサルティンググループの事前承認なしに、第三者への配布・引用・複製を行うことはお断りしております。

株式会社オウルズコンサルティンググループ

〒106-0046 東京都港区元麻布 3-1-6

<https://www.owls-cg.com/>